

背景

日本一の水揚げを誇る水産・水産加工業を基幹産業としていますが、コロナ禍で、時代の変化に対応した業態の転換が求められています。
(例.ECサイトの運営等)

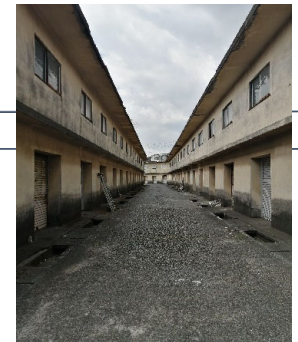


現状の課題

市内企業では、時代の変化に対応した業態の転換を加速するための人材が不足しており、それらを解決するために外から人材(複業人材等)を呼びこみ、市内企業との交流・連携を進める必要があります。



<漁具倉庫 (焼津漁協所有) >



事業の目的

焼津漁協が所有する「漁具倉庫」を飲食・宿泊機能を備えた拠点としてリノベーションし、テレワーク・ワーケーションを推進していきます。

これまでの取組

- ・ 2棟ある「漁具倉庫」のうち、1棟は来月を目途に部分オープンを予定しており、企業のサテライトオフィスや、コワーキングスペースとして供用開始します。



事業
内容

- ・テレワーク施設、集中ブース、コワーキングスペースの整備
(キャッシュレス導入等、DX化)
- ・宿泊施設の整備(キャッシュレス導入等、DX化)
- ・プロジェクトマネージャーを配置し、
市内企業とのビジネスマッチング(プロジェクト創発)
- ・地域課題をテーマとした課題解決型WS

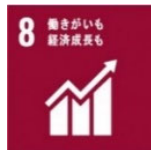
< 焼津POTEERS >



得られる
成果等

成果・目標

- ・「やいづ版ワーケーション」の確立
- ・リピーター増加
- ・本事業を通じた企業誘致
- ・サテライトオフィス開設



企業に求めるもの

- ・地域課題の提案
- ・地元企業との連携・交流

企業のメリット

- ・企業のPR
- ・地域課題解決参画
- ・越境学習

